

NetCommonsユーザカンファレンス2017

サイバーセキュリティトレンド2017



2017年8月22日

NTTテクノクロス株式会社

サイバーセキュリティトレンド

環境変化

政治

経済

社会

サイバ-空間の変化

攻撃手法

防御技術

技術変化

技術

サービス

重要課題

インシデント事例

革新技術

サイバーセキュリティトレンド

3~5年後のセキュリティ情勢を予見

企業経営・組織運営に反映

サイバーセキュリティトレンド2017

1. 新たなポータル時代が到来し、サイバーフィジカルセキュリティが進化する
2. 事業継続性を脅かすサイバー攻撃対策が必要となる
3. サプライチェーン全体でのセキュリティマネジメントが求められる
4. インシデント対応組織の実行力強化が求められる
5. ソフトウェアの継続的かつ効率的な脆弱性マネジメントが益々重要になる
6. プライバシー保護とデータ利活用の対策が進化する
7. 無線通信インフラが整備され、モバイルセキュリティが重要になる
8. セキュリティ技術者の育成が進み、セキュリティスマートリーシングが加速する
9. AIを活用したセキュリティ対策が進化する
10. 加速するビジネススピードに対して継続的なセキュリティ確保も必須になる

Resilient Security

トレンド2

**サービス継続性を脅かす
サイバー攻撃対策が必要
となる**

ランサムウェア = 身代金要求型マルウェア

- Ransom（身代金） + Software（ソフトウェア）の造語
- 端末ロック型、暗号化型の2種類
- 端末ロック型はランサムウェアを駆除すれば、再び端末操作可能
- 暗号化型はランサムウェアを駆除しても、暗号化されたデータは復元不可
 - ✓ データを復元するためには、復号鍵が必要
 - ✓ 身代金を支払っても、復号鍵が提供されとは限らない
- 現在の主流はほとんどが暗号化型

マルウェアによりファイルが暗号化され、システムダウン。40ビットコイン（1万7000ドル相当）の身代金要求に応じて復旧。



February 17, 2016

I am writing to talk to you about the recent cyber incident which temporarily affected the operation of our enterprise-wide hospital information system.

It is important to note that this incident did not affect the delivery and quality of the excellent patient care you expect and receive from Hollywood Presbyterian Medical Center ("HPMC"). Patient care has not been compromised in any way. Further, we have no evidence at this time that any patient or employee information was subject to unauthorized access.

On the evening of February 5th, our staff noticed issues accessing the hospital's computer network. Our IT department began an immediate investigation and determined we had been subject to a malware attack. The malware locked access to certain computer systems and prevented us from sharing communications electronically. Law enforcement was immediately notified. Computer experts immediately began assisting us in determining the outside source of the issue and bringing our systems back online.

The reports of the hospital paying 9000 Bitcoins or \$3.4 million are false. The amount of ransom requested was 40 Bitcoins, equivalent to approximately \$17,000. The malware locks systems by encrypting files and demanding ransom to obtain the decryption key. The quickest and most efficient way to restore our systems and administrative functions was to pay the ransom and obtain the decryption key. In the best interest of restoring normal operations, we did this.

- 2016年2月5日、攻撃が発覚、電子カルテシステムがロック
- 救急患者を別の病院に転院させる事態に！
- 同17日、要求された身代金を支払ってシステムを復旧させたと発表

駅の端末や券売機のディスプレイに脅迫メッセージが表示、暗号化を解除する代わりに7万3000ドルを要求



2112台のコンピュータが感染。
MUNIネットワーク8500台に被害。



- 2016年11月25日、感染が発覚、券売機を停止
- 同26日、乗車料金を無償化
- 同27日、システム復旧

出所 <http://www.gizmodo.jp/2016/11/san-francisco-muni-hacked.html>
<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1611/29/news076.html>

2017年5月12日以降、世界150カ国、30万台超のマシンがWannaCryに感染

- WindowsのSMBv1(445/tcp)の脆弱性(注)を突いて感染
- ワーム(自己拡散)機能を搭載し、脆弱なシステムを探索して感染を拡大
- ファイルを暗号化して、身代金としてビットコインを要求(\$300相当)
- 多言語(28言語)対応
- ポート445は日本で約3万件、世界で50万件以上が開放。本脆弱性が残っているもの7割以上(トレンドマイクロ調査:5/18現在)



(注) SMB:Server Message Block(ファイル共有プロトコル)。2017年3月14日に修正パッチが公開。ハッカー集団Shadow Brokersが米国家安全保障局(NSA)から攻撃コード(EternalBlue)を盗み出し、2017年4月に公開。

出所 <http://www.yomiuri.co.jp/science/goshinjyutsu/20170519-OYT8T50016.html>
<https://japan.cnet.com/article/35101490/>
<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1705/16/news028.html>
<https://www.businessinsider.jp/post-33641>

- 身代金を要求するランサムウェアが急増
- サイバー攻撃によってサービス継続性が脅かされる時代



- サイバーセキュリティの観点からBCP（事業継続計画）策定が必要
- 特に、ランサムウェア対策として、システム/ファイルのバックアップ対策が必要（復旧手順策定、訓練も重要）
- 未然防止のためには、ソフトウェアの最新化/脆弱性管理が重要

Resilient Security

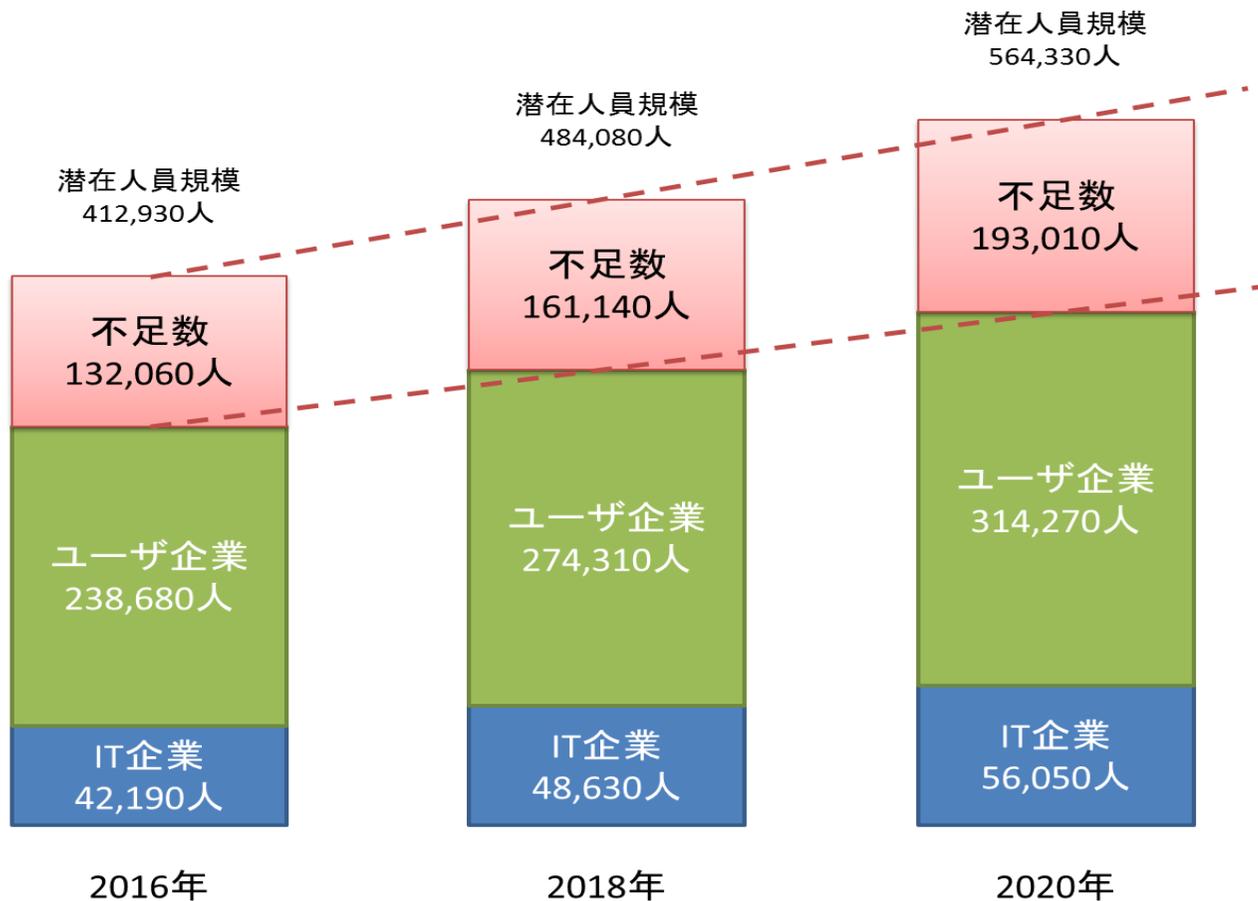


トレンド 8

セキュリティ技術者の育成が
進み、**セキュリティ**スマート
ソーシングが加速する

セキュリティ人材の不足数

現時点で情報セキュリティ人材は28万人、不足数は13万人
2020年までに不足数が19万人にまで拡大

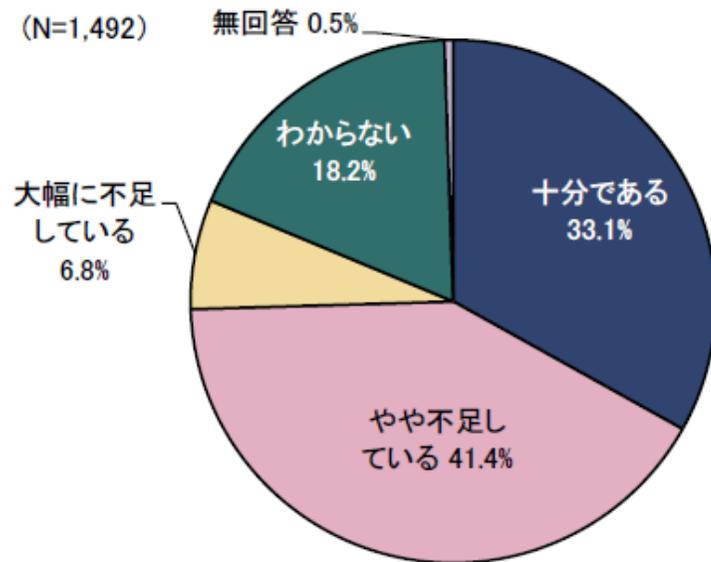


出所 経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」（平成28年6月10日）

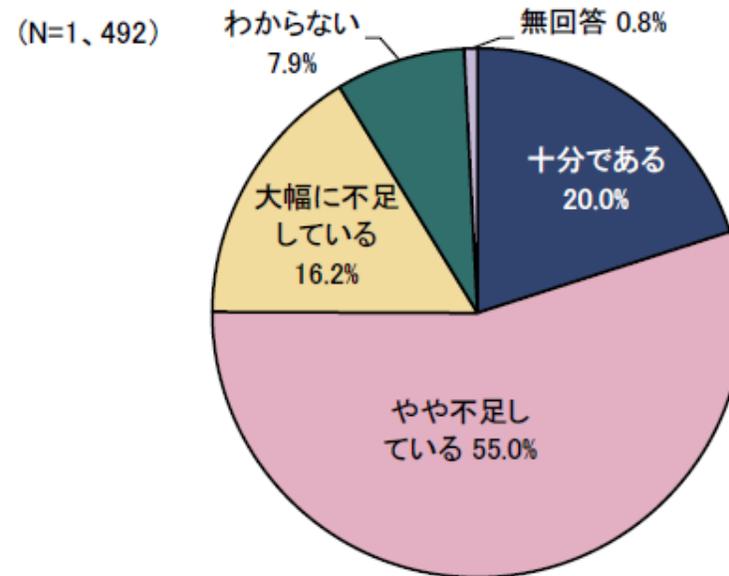
情報セキュリティ業務担当者の充足度（IPA調査）

量的充足度よりも質的充足度のほうが深刻。

量的な充足度

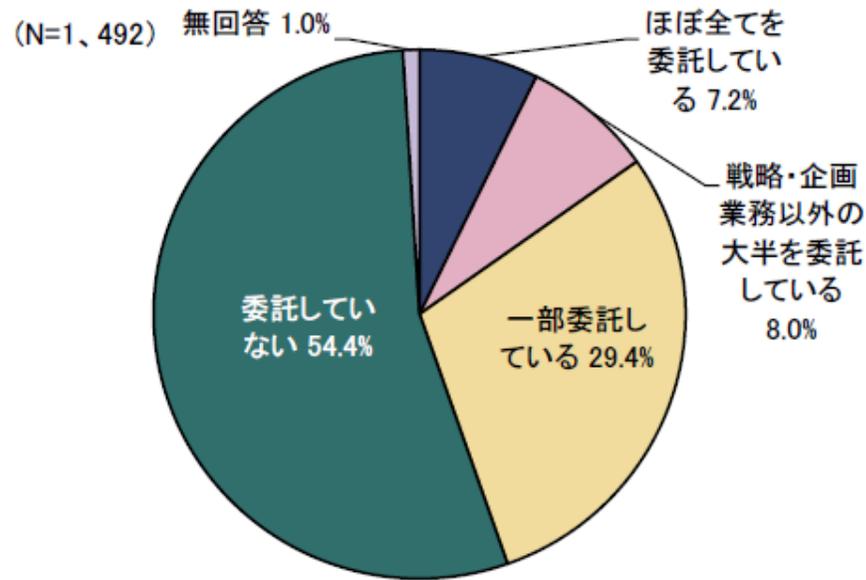


スキル面での充足度



出所 IPA/ISEC「2014年度 情報セキュリティ事象被害状況調査 - 報告書 -」（2015年1月）

半数以上の企業は情報セキュリティ業務を外部委託していない



出所 IPA/ISEC「2014年度 情報セキュリティ事象被害状況調査 - 報告書 -」（2015年1月）

ソーシングの最適化を図ったスマートソース時代へ

アウトソーシング戦略の巧拙が、将来にわたる企業のソーシング全体の成否を分ける

ガートナー、2016年以降の日本におけるソーシングとITサービスの展望を発表（2015年12月9日）

■ 重要なポイント

- ✓インソース人材の育成と最適配置、キャリアパス
- ✓インソース/アウトソースの最適化
- ✓戦略的パートナーの選択（アウトソース先の妥当性）

セキュリティ人材の育成とスマートソーシングの拡大

- セキュリティ技術者が量的、質的に決定的に不足
- セキュリティ業務の外部委託も少ない



- 自社内に必要なインソース人材の定義と育成が必要
- 自社の実態、目標に合わせてインソース/アウトソース戦略を立案し、徐々に全体最適化していくべき
- アウトソース先としてのパートナー戦略が益々重要

Security Smartsourcing

トレンド10

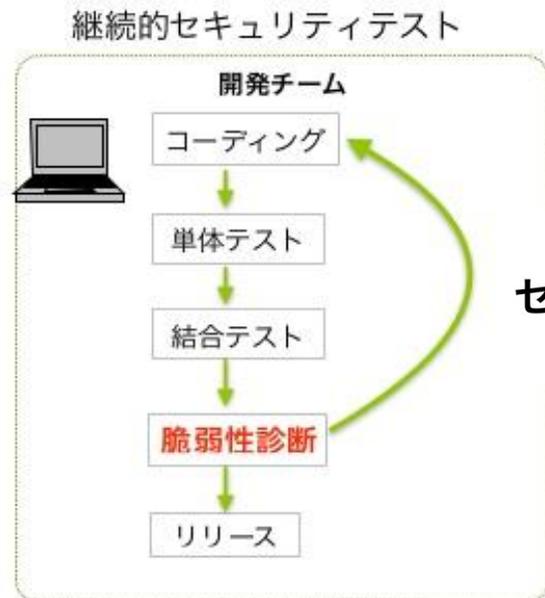
変化する要件への迅速
な対応に対して
継続的なセキュリティ
の確保も必須になる

リリース直前、リリース後の診断のみでは開発スケジュールの遅延やコスト増を招くため、継続的なセキュリティ診断が必要。

継続的Webセキュリティテスト

問題点

- リリース直前に大量の脆弱性発見
 - スケジュール遅延
- リリース後の修正・機能追加
 - 診断が難しい(コスト・期間)



継続的な
セキュリティテスト
が必要

継続的インテグレーション/継続的デリバリやテスト自動化の中にセキュリティを組み込むというアプローチ



- セキュアプロダクトライフサイクル (SLPC) を規定
- 「アジャイル」を推進
- 「Secure by Design」を維持
- アジャイル開発において描かれる「ユースストーリー」と同様に「セキュリティストーリー」を作成し、対等に扱う
- セキュアな開発フレームワークやツールを標準化
- 属人性を排除して、ルーチンの中に自動的にセキュリティを組み入れる

求められる継続的なセキュリティ

高まるセキュリティ脅威と求められるスピード開発の中において、継続的なセキュリティの確保が必要

高まる脅威

- 日々発見される脆弱性
- 悪質化する攻撃

求められるスピード開発

運用

開発

継続的デリバリー

リリース

テスト

継続的な
セキュリティの確保

Continuous Security

結びに

まとめ

- 急増するサイバー攻撃
- 先を見通したリスクコントロールが必要
- サイバーセキュリティトレンド2017をご紹介

ランサムウェアの急増により、サービス継続のためのサイバー攻撃対策が必要

セキュリティ技術者が不足しており、インソース/アウトソースの最適化と戦略的パートナーの選択が重要

高まるセキュリティ脅威と求められるスピード開発の中において、継続的なセキュリティの確保が必要

ダイジェスト版、詳細版がダウンロード可能

弊社HPから、サイバーセキュリティトレンド2017がダウンロードできます。

<https://www.ntt-tx.co.jp/products/cs-trend/>



サイバーセキュリティトレンド2017

日々高度化、悪質化、巧妙化するサイバー攻撃。企業、組織の健全な運営にはサイバーセキュリティ対策は必須。NTTテクノクロスでは、PEST（政治、経済、社会、技術）分析によりマクロな動向を捉え、今後起こりうる変化を捉え、具体的な発生している特異的な事例を重畳合わせて、3～5年先のサイバーセキュリティトレンド予測を予測します。



1. 新たなホーダレス時代が到来し、サイバーフィジカルセキュリティが進化する
2. 事業継続性を脅かすサイバー攻撃対策が必要となる
3. サプライチェーン全体でのセキュリティマネジメントが求められる
4. インシデント対応組織の実行力強化が求められる
5. ソフトウェアの継続的かつ効率的な脆弱性マネジメントが重要となる
6. プライバシー保護とデータ利活用の対策が進化する
7. 無縁通信インフラが整備され、モバイルセキュリティが重要になる
8. セキュリティ技術者の育成が進み、セキュリティスマートソーシングが加速する
9. AIを活用したセキュリティ対策が進化する
10. 加速するビジネススピードに対して継続的なセキュリティ確保も必須となる

資料ダウンロード



ダイジェスト版
(2ページ：1.77MB)



詳細版
(32ページ：3.77MB)

※詳細版に関するお問い合わせは、NTTテクノクロスのお問い合わせ専用ページ（社外サイト：MARKETINGPLATFORM）に遷移します（MARKETINGPLATFORMは、株式会社シャノンが提供しているクラウドアプリケーションです）。

サイバーセキュリティトレンド2017コラム一覧

順次公開予定です。

- 第1回：新たなホーダレス時代が到来し、サイバーフィジカルセキュリティが進化する
- 第2回：事業継続性を脅かすサイバー攻撃対策が必要となる
- 第3回：サプライチェーン全体でのセキュリティマネジメントが求められる
- 第4回：インシデント対応組織の実行力強化が求められる
- 第5回：ソフトウェアの継続的かつ効率的な脆弱性マネジメントが重要となる
- 第6回：プライバシー保護とデータ利活用の対策が進化する
- 第7回：無縁通信インフラが整備され、モバイルセキュリティが重要になる
- 第8回：セキュリティ技術者の育成が進み、セキュリティスマートソーシングが加速する
- 第9回：AIを活用したセキュリティ対策が進化する
- 第10回：加速するビジネススピードに対して継続的なセキュリティ確保も必須となる

ダイジェスト版

詳細版



ご清聴ありがとうございました



本資料は、NTTテクノクロス株式会社が著作権を有しております。本資料のいかなる部分も、NTTテクノクロス株式会社の事前の書面による承諾なく、使用、複製、頒布、修正、変更または編集されないものとします。NTTテクノクロス株式会社の事前の書面による承諾なく、本資料の如何なる部分についても、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段、および目的であっても禁じられています。正当な権限または承諾なく、この資料を使用または利用することは、著作権法に違反するとともに損害賠償の対象となります。本資料およびその内容は、事前の通知なく、何時でも変更または改定されることがあります。本資料中に記載されている会社名および商品名は、それぞれの商標権者に帰属します。